

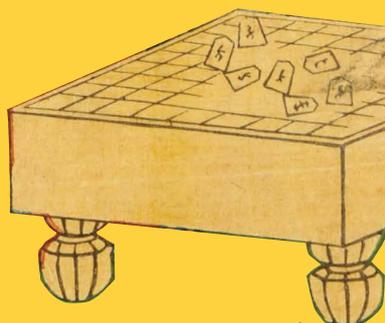
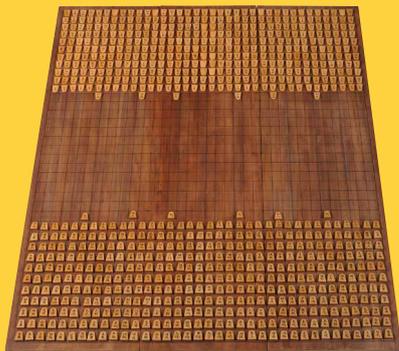
大阪商業大学アミューズメント産業研究所 第21回特別展示

古代から現代まで、将棋は日本を代表する遊戯として多くの人々に親しまれてきました。

最古の発掘駒である平安時代の「興福寺駒」に始まり、江戸時代に庶民の娯楽として定着した将棋にちなんだ浮世絵の数々、さらに近現代の将棋界発展の歴史まで、1000年にわたって続いてきた文化としての将棋の奥深さを特別展示をご覧ください。

令和5年
午前10時～午後4時30分（入場無料）※休館日：日曜日 11月23日（木・祝）開館

11月18日（土）～12月23日（土）



背景：「興福寺旧境内出土駒」(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵)

『将棋の歩み』

— 平安時代から令和まで —

（展示会場）大阪商業大学アミューズメント産業研究所 展示室（谷岡記念館1階）
後援 ● 東大阪市、東大阪市教育委員会、東大阪商工会議所



『将棋の歩み—平安時代から令和まで』

今回の展示では日本の将棋をテーマに歴史、文化、記録など以下に挙げるさまざまな視点から取り上げ解説します。主な内容は①将棋駒の歴史—平安時代の将棋駒から現代の将棋駒の研究。旧興福寺境内発掘「興福寺駒」や「酔象」駒、安土桃山時代の大阪城跡出土駒ほか。②浮世絵を中心とした将棋芸術とその背景。③将棋界と日本将棋連盟の歩み—将棋連盟設立から新会館建設まで。④東アジアの将棋系遊戯と日本将棋の類似点・相違点、将棋伝来諸説の検証です。

講座 [全2回]

要申込

定員30名

無料

12月9日(土) 13時30分~15時

▼テーマ

「AI時代になっても万能の勉強法『詰将棋』の効用と活用法」

▼講師

浦野 真彦 (日本将棋連盟 棋士八段)

▼会場

大阪商業大学 ユニバーシティ・コモンズ・リアクト (re-Act)3階 セミナールーム1



「将棋世界 (創刊号)」

12月16日(土) 13時30分~15時

▼テーマ

「将棋史研究の最新事情」

▼講師

古作 登 (大阪商業大学アミューズメント産業研究所主任研究員)

▼会場

大阪商業大学U-メディアセンターGATEWAY4階 ネットワークレクチャールーム

受講料 無料(事前申込制)

時間 13時30分~15時

申込方法 FAX、E-Mail、WEB(下記①~④を明記)にてお申し込み下さい。定員になり次第締め切ります。

当研究所からの受講許可の連絡はいたしませんので、当日直接会場へお越しください。ただし、定員超過の場合など、受講いただけない場合のみ、その旨ご連絡いたします。

①講演日 ②氏名 ③郵便番号、住所 ④連絡先(電話/FAX番号、メールアドレス)

申込先・問い合わせ先 大阪商業大学アミューズメント産業研究所
〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10
TEL:06(4307)6570 FAX:06(4306)3035
Email:amuse@oucow.daishodai.ac.jp



●展示品はすべて非売品です。
●専用駐車場はございませんので、ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。

WEB申込はこちらから



大阪商業大学アミューズメント産業研究所

〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10 TEL:06(4307)6570 FAX:06(4306)3035
Email:amuse@oucow.daishodai.ac.jp